

(2) 専門研修

① 教科等に関する研修

教科等に関する研修

教科等に関する研修会は、授業力向上に向けた研修とし、授業づくりに関する講義・協議・実践発表、学校の授業参観や教科の特性に応じICTを効果的に活用した内容を企画しました。小学校と中学校は新学習指導要領が全面実施、高等学校は昨年度より年次進行で実施されたことから、学習指導要領の趣旨をより一層深く理解し「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善と学習評価の改善について実現できるようにしています。

研修会の内容についても、小・中・高等学校の連続性・系統性を意識し、校種の枠を超えた研修、大学と連携して教職員を志す大学生と共に学ぶ研修、学校を会場とし授業を参観して学ぶ研修、仙台市教育センターと連携した研修等工夫をしました。「目的・ねらい」や「研修内容」、「PR・連絡等」を確認し、自らの資質能力の向上を見据え、申し込んでください。

教科等に関する研修については、初任者研修（3年目）及び中堅教諭等資質向上研修における選択研修に該当します（一部研修会を除く）。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修

選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0111	国語科研修会(小学校:領域 話すこと・聞くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要 [定員 80 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	小学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 24 日 (月)	講義	国語科における資質・能力の育成 (仮) 講師: 文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏 (仮)
	講義・演習	国語科における資質・能力の育成 (仮) 講師: 文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏 (仮)
11 月 8 日 (水)	講義	小・中・高を通して育成する「話すこと・聞くこと」の資質・能力 (仮) 講師: 東北学院大学 教授 渡辺 通子 氏 (仮)
	実践発表	I C Tを活用した「話すこと・聞くこと」の授業づくり (仮) 講師: 県内小学校教諭
	研究協議	「話すこと・聞くこと」における授業づくりの工夫と課題 (仮) 講師: 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり, NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0112(小学校 領域 書くこと)およびC0113(小学校 領域 読むこと)と合同で行います。文部科学省教科調査官の講義で国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実践について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0121(中学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0131(高等学校 領域 話すこと・聞くこと)と合同で行います。学習指導要領における「話すこと・聞くこと」の小中高の系統性を意識した指導の在り方について課題を共有し、I C Tを活用した授業づくりについて研修することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0112, C0113との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0112	国語科研修会(小学校:領域 書くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要
-----------	-------	---	------

目的・ねらい 小学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 24 日 (月)	講義	国語科における資質・能力の育成(仮) 講師:文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏(仮)
	講義・演習	国語科における資質・能力の育成(仮) 講師:文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏(仮)
10 月 18 日 (水)	講義	小・中・高を通して育成する「書くこと」の資質・能力(仮) 講師:お茶の水大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(仮)
	実践発表	I C Tを活用した「書くこと」の授業づくり(仮) 講師:県内中学校教諭
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0111(小学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0113(小学校 領域 読むこと)と合同で行います。文部科学省教科調査官の講義で国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実際について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0122(中学校 領域 書くこと)およびC0132(高等学校 領域 書くこと)と合同で行います。学習指導要領における「書くこと」の指導において、児童生徒から言葉を引き出し、主体的に学びに向かう態度を育成するために、I C Tを活用した実践的な授業改善の方策を探ります。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0111, C0113との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0113	国語科研修会(小学校:領域 読むこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要
			[定員 80 名]

目的・ねらい	小学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 24 日 (月)	講義	国語科における資質・能力の育成 (仮) 講師：文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏 (仮)
	講義・演習	国語科における資質・能力の育成 (仮) 講師：文部科学省 教科調査官 大塚 健太郎 氏 (仮)
9 月 29 日 (金)	講義	小・中・高を通して育成する「読むこと」の資質・能力 (仮) 講師：東京学芸大学 教授 中村 和弘 氏 (仮)
	実践発表	I C Tを活用した「読むこと」の授業づくり (仮) 講師：県内高等学校教諭
	研究協議	「読むこと」における授業づくりの工夫と課題 (仮) 講師：総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0111(小学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0112(小学校 領域 書くこと)と合同で行います。文部科学省教科調査官の講義で国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実際について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0123(中学校 領域 読むこと)およびC0133(高等学校 領域 読むこと)と合同で行います。学習指導要領における「読むこと」において、児童生徒が言葉に着目して考えながら読む力を身に付けるために、実践事例を基に、I C Tを活用した単元構想・授業設計のポイントをつかむことを目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0111, C0112との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修

選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0121	国語科研修会(中学校:領域 話すこと・聞くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要 [定員 30 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい	中学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 7 日 (金)	講義	国語科における資質・能力の育成(仮) 講師:宮城教育大学 教授 児玉 忠 氏(仮)
	講義	国語科における指導と評価の一体化 講師:文部科学省 教科調査官 鈴木 太郎 氏(仮)
11 月 8 日 (水)	講義	小・中・高を通して育成する「話すこと・聞くこと」の資質・能力(仮) 講師:東北学院大学 教授 渡辺 通子 氏(仮)
	実践発表	I C Tを活用した「話すこと・聞くこと」の授業づくり(仮) 講師:県内小学校教諭
	研究協議	「話すこと・聞くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0122(中学校 領域 書くこと)およびC0123(中学校 領域 読むこと)と合同で行います。国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実際について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0111(小学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0131(高等学校 領域 話すこと・聞くこと)と合同で行います。学習指導要領における「話すこと・聞くこと」の小中高の系統性を意識した指導の在り方について課題を共有し、I C Tを活用した授業づくりについて研修することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0122、C0123との重複申込みはできません。

○免許外で国語科を担当している主幹教諭・教諭で国語科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期	
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>

希望 研修 選択研修等 初研研3年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0122	国語科研修会(中学校:領域 書くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要 [定員 30名]
-----------	-------	---	------------------

目的・ねらい	中学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的な方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月7日(金)	講義	国語科における資質・能力の育成(仮) 講師:宮城教育大学 教授 児玉 忠 氏(仮)
	講義	国語科における指導と評価の一体化 講師:文部科学省 教科調査官 鈴木 太郎 氏(仮)
10月18日(水)	講義	小・中・高を通して育成する「書くこと」の資質・能力(仮) 講師:お茶の水大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(仮)
	実践発表	ICTを活用した「書くこと」の授業づくり(仮) 講師:県内中学校教諭
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後のeラーニング(詳細はシステム参照)	1日目の事前	1日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0121(中学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0123(中学校領域 読むこと)と合同で行います。国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実践について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0112(中学校 領域 書くこと)およびC0132(高等学校 領域 書くこと)と合同で行います。学習指導要領における「書くこと」の指導において、児童生徒から言葉を引き出し、主体的に学びに向かう態度を育成するために、ICTを活用した実践的な授業改善の方策を探ります。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0121、C0123との重複申込みはできません。

○免許外で国語科を担当している主幹教諭・教諭で国語科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修 選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0123	国語科研修会(中学校:領域 読むこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要 [定員 30 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい	中学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体の方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7 月 7 日 (金)	講義	国語科における資質・能力の育成(仮) 講師:宮城教育大学 教授 児玉 忠 氏(仮)
	講義	国語科における指導と評価の一体化 講師:文部科学省 教科調査官 鈴木 太郎 氏(仮)
9 月 29 日 (金)	講義	小・中・高を通して育成する「読むこと」の資質・能力(仮) 講師:東京学芸大学 教授 中村 和弘 氏(仮)
	実践発表	I C Tを活用した「読むこと」の授業づくり(仮) 講師:県内高等学校教諭
	研究協議	「読むこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0121(中学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0122(中学校 領域 書くこと)と合同で行います。国語科教育の今日的な課題について理解を深め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業づくりの実践について学びます。

なお、1日目は、仙台市教育センターとの合同開催となります。

○2日目の領域別研修会は、C0113(小学校 領域 読むこと)およびC0133(高等学校 領域 読むこと)と合同で行います。学習指導要領における「読むこと」において、児童生徒が言葉に着目して考えながら読む力を身に付けるために、実践事例を基に、I C Tを活用した単元構想・授業設計のポイントをつかむことを目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0121、C0122との重複申込みはできません。

○免許外で国語科を担当している主幹教諭・教諭で国語科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助 (5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	------------	------	----

研修会 番号	C0131	国語科研修会(高等学校:領域 話すこと・聞くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	高等学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 29 日 (木)	講義	資質・能力を育成する学習評価のあり方 (仮) 講師: 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏 (仮)
	実践発表	学習指導要領を踏まえた授業の実際 (仮) 講師: 県内高等学校教員
	ワークショップ	学習指導要領を踏まえた授業改善 (仮) 講師: 総合教育センター指導主事
11 月 8 日 (水)	講義	小・中・高を通して育成する「話すこと・聞くこと」の資質・能力 (仮) 講師: 東北学院大学 教授 渡辺 通子 氏 (仮)
	実践発表	I C Tを活用した「話すこと・聞くこと」の授業づくり (仮) 講師: 県内小学校教諭
	研究協議	「話すこと・聞くこと」における授業づくりの工夫と課題 (仮) 講師: 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0132(高等学校 領域 書くこと)およびC0133(高等学校領域 読むこと)と合同で行います。新学習指導要領における指導と評価について理解を深め、実施上の課題の解決を目指します。

○2日目の領域別研修会は、C0111(小学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0121(中学校 領域 話すこと・聞くこと)と合同で行います。学習指導要領における「話すこと・聞くこと」の小中高の系統性を意識した指導の在り方について課題を共有し、I C Tを活用した授業づくりについて研修することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0132, C0133との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0132	国語科研修会(高等学校:領域 書くこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	高等学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 29 日 (木)	講義	資質・能力を育成する学習評価のあり方(仮) 講師:横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏(仮)
	実践発表	学習指導要領を踏まえた授業の実際(仮) 講師:県内高等学校教員
	ワークショップ	学習指導要領を踏まえた授業改善(仮) 講師:総合教育センター指導主事
会場: 総合教育センター		
10 月 18 日 (水)	講義	小・中・高を通して育成する「書くこと」の資質・能力(仮) 講師:お茶の水大学附属中学校 教諭 渡邊 光輝 氏(仮)
	実践発表	I C Tを活用した「書くこと」の授業づくり(仮) 講師:県内中学校教諭
	研究協議	「書くこと」における授業づくりの工夫と課題(仮) 講師:総合教育センター指導主事
会場: 総合教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0131(高等学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0133(高等学校 領域 読むこと)と合同で行います。新学習指導要領における指導と評価について理解を深め、実施上の課題の解決を目指します。

○2日目領域別研修会は、C0112(小学校 領域 書くこと)およびC0122(中学校 領域 書くこと)と合同で行います。学習指導要領における「書くこと」の指導において、児童生徒から言葉を引き出し、主体的に学びに向かう態度を育成するために、I C Tを活用した実践的な授業改善の方策を探ります。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0131, C0133との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0133	国語科研修会(高等学校:領域 読むこと) ~これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指す国語科の授業づくり~	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	高等学校における国語科教育の課題、授業改善の方向性を捉えるとともに、学習の質を高めていくための具体的方策について研修することを通し、授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 29 日 (木)	講義	資質・能力を育成する学習評価のあり方 (仮) 講師: 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏 (仮)
	実践発表	学習指導要領を踏まえた授業の実際 (仮) 講師: 県内高等学校教員
	ワークショップ	学習指導要領を踏まえた授業改善 (仮) 講師: 総合教育センター指導主事
9 月 29 日 (金)	講義	小・中・高を通して育成する「読むこと」の資質・能力 (仮) 講師: 東京学芸大学 教授 中村 和弘 氏 (仮)
	実践発表	I C Tを活用した「読むこと」の授業づくり (仮) 講師: 県内高等学校教諭
	研究協議	「読むこと」における授業づくりの工夫と課題 (仮) 講師: 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	1 日目の研修を受講するにあたり、NITSの動画視聴を事前に行う。

【PR・連絡等】

○国語科研修会は、小・中・高等学校それぞれの校種別研修会と3つの領域別研修会とで構成し、校種別研修会を1日目、領域別研修会を2日目と位置付けています。それぞれの校種における国語科教育の課題を明らかにし、授業改善の方向性を捉えた上で、各領域の学習内容の系統性、発展性について理解し、言語活動・学習過程の充実・改善の方策を探ります。

○1日目の校種別研修会は、C0131(高等学校 領域 話すこと・聞くこと)およびC0132(高等学校領域 書くこと)と合同で行います。新学習指導要領における指導と評価について理解を深め、実施上の課題の解決を目指します。

○2日目の領域別研修会は、C0113(小学校 領域 読むこと)およびC0123(中学校 領域 読むこと)と合同で行います。学習指導要領における「読むこと」において、児童生徒が言葉に着目して考えながら読む力を身に付けるために、実践事例を基に、I C Tを活用した単元構想・授業設計のポイントをつかむことを目指します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

○C0131, C0132との重複申込みはできません。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力	

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助 (5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	------------	------	----

研修会 番号	C0210	社会科研修会(小学校) ～教員と学生の協働的な学び合いから、社会科、地歴科・公民科の今日的な課題を考える～ [定員 30 名]	申込必要
-----------	-------	--	------

目的・ねらい	小学校社会科の今日的な課題や学習指導要領が求める授業の在り方について理解を深めるとともに、実践的な研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法の工夫・改善と授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8 月 7 日 (月)	講義・演習	小・中学校及び高等学校における探究的な授業の在り方 (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏
会場： 宮城教育大学	研究協議	学習の質を高める指導方法の工夫～学習指導案の検討を通して～ (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏，総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	学習指導案の検討についての趣旨及び詳細説明

【PR・連絡等】

○本研修会は、宮城教育大学と連携して行う研修であり、教員を目指す学生も参加し、現役の教員と学生が共に学び合う研修会です。教員と学生が同じ課題に向き合い、社会科、地歴科・公民科の指導方法等について考えます。

○宮城教育大学との連携・協力の下に、小学校社会科、中学校社会科、高等学校地歴科・公民科の3校種合同で行います。宮城教育大学の教授の講義を通して、これからの社会科、地歴科・公民科の授業の在り方を考えます。研究協議では、教員と学生が、事前課題である学習指導案を持ち寄って、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫や課題等を共有することで、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業づくりについて学び合います。また、学習指導案の検討を通して、思考ツールを活用した指導方法やICT活用、指導と評価の一体化などに着目した授業展開の在り方について協議します。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修 選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0220	社会科研修会(中学校) ～教員と学生の協働的な学び合いから、社会科、地歴科・公民科の今日的な課題を考える～	申込必要
			[定員 20 名]

目的・ねらい	中学校社会科の今日的な課題や学習指導要領が求める授業の在り方について理解を深めるとともに、実践的な研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法の工夫・改善と授業力の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8 月 7 日 (月)	講義	小・中学校及び高等学校における探究的な授業の在り方 (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏
	研究協議	学習の質を高める指導方法の工夫～学習指導案の検討を通して～ (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏、総合教育センター指導主事
9 月 25 日 (月)	講義	I C T を活用した社会科、地歴科・公民科における授業づくり～効果的な I C T 活用とは～ (仮) 講師：(未定)
	研究協議	模擬授業についての検討 (仮) 講師：総合教育センター指導主事
	演習	(模擬授業)「深い学び」の実現に向けての思考ツールを活かした授業づくりの検討～模擬授業の実践を通して～ (仮) 講師：総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	学習指導案の検討についての趣旨及び詳細説明

【PR・連絡等】

○本研修会は、宮城教育大学と連携して行う研修であり、教員を目指す学生も参加し、現役の教員と学生が共に学び合う研修会です。教員と学生が同じ課題に向き合い、社会科、地歴科・公民科の指導方法等について考えます。
○1 日目は小学校社会科、中学校社会科、高等学校地歴科・公民科の3校種合同で行います。宮城教育大学の教授の講義を通して、これからの社会科、地歴科・公民科の授業の在り方を考えます。研究協議では、教員と学生が、事前課題である学習指導案を持ち寄り、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫や課題等を共有することで、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業づくりについて学び合います。また、2 日間にわたる学習指導案の検討や研究協議を通して、思考ツールを活用した指導方法や I C T 活用、指導と評価の一体化などに着目した授業展開の在り方について協議し、2 日目に、これを踏まえた模擬授業を行います。
○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
○免許外で社会科を担当している主幹教諭・教諭で社会科に関わる担任経験 1 年目は悉皆受講です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0230	社会科研修会(高等学校:地歴科・公民科) ～教員と学生の協働的な学び合いから、社会科、地歴科・公民科の今日的な課題を考える～	申込必要
			[定員 20 名]

目的・ねらい	高等学校地歴科・公民科の今日的な課題や学習指導要領が求める授業の在り方について理解を深めるとともに、実践的な研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法の工夫・改善と授業力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

8 月 7 日 (月)	講義	小・中学校及び高等学校における探究的な授業の在り方 (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏
	研究協議	学習の質を高める指導方法の工夫～学習指導案の検討を通して～ (仮) 講師：宮城教育大学大学院 教授 吉田 剛 氏, 総合教育センター指導主事
9 月 25 日 (月)	講義	I C Tを活用した社会科、地歴科・公民科における授業づくり～効果的な I C T活用とは～ (仮) 講師：(未定)
	研究協議	模擬授業についての検討 (仮) 講師：総合教育センター指導主事
	演習	(模擬授業) 「深い学び」の実現に向けての思考ツールを活かした授業づくりの検討～模擬授業の実践を通して～ (仮) 講師：総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	学習指導案の検討についての趣旨及び詳細説明

【PR・連絡等】

○本研修会は、宮城教育大学と連携して行う研修であり、教員を目指す学生も参加し、現役の教員と学生が共に学び合う研修会です。教員と学生が同じ課題に向き合い、社会科、地歴科・公民科の指導方法等について考えます。
○1 日目は小学校社会科、中学校社会科、高等学校地歴科・公民科の3校種合同で行います。宮城教育大学の教授の講義を通して、これからの社会科、地歴科・公民科の授業の在り方を考えます。研究協議では、教員と学生が、事前課題である学習指導案を持ち寄って、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫や課題等を共有することで、現役の教員と学生が、今求められる社会科、地歴科・公民科の授業づくりについて学び合います。また、2 日間にわたる学習指導案の研究協議や検討を通して、思考ツールを活用した指導方法や I C T活用、指導と評価の一体化などに着目した授業展開の在り方について協議し、2 日目に、これを踏まえた模擬授業を行います。
○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力	

希望 研修 選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0310	算数・数学科研修会(小学校) ～小中の系統性を踏まえた授業づくり～	申込必要 [定員 60 名]
-----------	-------	--------------------------------------	-------------------

目的・ねらい 学習指導要領で求められている算数・数学の授業についての理解を深め、小中の系統性を踏まえた算数科の実践的な授業づくり研修により、小中連携を意識した指導の在り方について考え、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 28 日 (水)	講義	小中の系統性を踏まえた授業づくり (仮) 講師: 宮城教育大学大学院 准教授 市川 啓 氏
	講義・演習	授業づくり研修Ⅰ 講師: 総合教育センター指導主事
会場: 総合教育センター		
7 月 31 日 (月)	講義	算数のよさや考える楽しさを味わう授業づくり (仮) 講師: 明星小学校 校長 細水 保宏 氏
	講義・演習	授業づくり研修Ⅱ 講師: 明星小学校 校長 細水 保宏 氏
会場: 仙台市教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	NITSオンライン講座 新学習指導要領編No.38 「新学習指導要領に対応した学習評価(小学校 算数科)」

【PR・連絡等】

○1 日目は、算数・数学科研修会(中学校)と合同で実施します。
中学校の先生方と一緒に、小中の系統性を踏まえた算数・数学の授業の在り方について考えます。また、小中連携を意識した授業について情報を共有し、学習指導案を作成するなど、授業づくりを行います。
○2 日目は、仙台市教育センターを会場として、仙台市の先生方と一緒に、数学的に考える資質・能力を育てるための視点や算数科の授業づくり等について考えます。算数のよさを実感できる、実践的な授業づくりについて研修を深めていきます。
○受講にあたって
事前にeラーニングコンテンツ「新学習指導要領に対応した学習評価(小学校 算数科)」を視聴してください。
○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修

選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0320	算数・数学科研修会(中学校) ～数学的に考える資質・能力を育む授業づくり～	申込必要 [定員 40 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい 学習指導要領で求められている算数・数学の授業についての理解を深め、小中の系統性を踏まえた授業づくり研修により、小中連携を意識した指導の在り方について考え、指導方法の工夫・改善や指導力の向上、学習評価の理解等を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 28 日 (水)	講義	小中の系統性を踏まえた授業づくり (仮) 講師: 宮城教育大学大学院 准教授 市川 啓 氏
	講義・演習	授業づくり研修Ⅰ 講師: 総合教育センター指導主事
会場: 総合教育センター		
8 月 2 日 (水)	講義	数学的に考える資質・能力を育む授業づくり 講師: 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 氏
	講義・演習	授業づくり研修Ⅱ 講師: 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 氏
会場: 仙台市教育センター		
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	NITSオンライン講座 新学習指導要領編No.53 「新学習指導要領に対応した学習評価(中学校 数学科)」

【PR・連絡等】

- 1 日目は、算数・数学科研修会(小学校)と合同で実施します。
小学校の先生方と一緒に、小中の系統性を踏まえた算数・数学の授業の在り方について考えます。また、小中連携を意識した授業について情報を共有し、学習指導案を作成するなど、授業づくりを行います。
- 2 日目は、仙台市教育センターを会場として、仙台市の先生方と一緒に数学科の授業づくりや学習評価について考えます。午後は、仙台市の先生方と合同で、午前の講義を生かした実践的な研修を行います。
- 受講にあたって
事前に eラーニングコンテンツ「新学習指導要領に対応した学習評価(中学校 数学科)」を視聴してください。
- 対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。
- 免許外で数学科を担当している主幹教諭・教諭で数学科に関わる担任経験 1 年目は悉皆受講です。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望	研修	選択研修等	初任研 3 年目	中堅研	実助 (5年・中堅)	中堅養教	免外
----	----	-------	----------	-----	------------	------	----

研修会 番号	C0330	算数・数学科研修会(高等学校) ～令和の日本型学校教育と指導と評価の一体化を意識した授業づくり～	申込必要
			[定員 30 名]

目的・ねらい	令和の日本型学校教育についての理解を深めるとともに、指導と評価の一体化を意識した授業づくり研修により、授業改善の推進と指導力の向上を図る。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場： 総合教育センター	7 月 13 日 (木)	講義	本県の公立高等学校入試結果から読み解く学力の現状と課題 講師：総合教育センター指導主事
		実践発表	I C T を効果的に活用する授業設計の工夫 (仮題) 講師：県内高等学校教諭
		実践発表	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す授業づくり 講師：県内高等学校教諭
		研究協議	指導と評価の一体化を意識した授業づくり
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	1 日目の事前	NITSオンライン講座 新学習指導要領編No. 62 「新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 数学科)」	

【PR・連絡等】

○「令和の日本型学校教育」の趣旨を踏まえて授業づくりを行う研修です。最初に、本県の公立高等学校入試結果から数学科の学習における課題を明らかにします。次に、I C T を効果的に活用している授業と令和の日本型学校教育を意識した授業の事例を情報共有します。研究協議では、本日学んだことを踏まえて、「指導と評価の一体化」の観点の基、受講者同士の協働の授業づくりを行います。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、受講者の教科指導力の向上を図ります。

○受講にあたって
事前にeラーニングコンテンツ「新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 数学科)」を視聴してください。

○対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力	

希望 研修 選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0401	理科研修会(小学校授業参観コース) ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい 学習指導要領の趣旨を理解し、小学校・中学校・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方について考え、理科指導力の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 2 日 (金) 会場: 総合教育センター	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮題) 講師: 国立教育政策研究所 学力調査官(予定)
	演習	小中高の接続を意識した観察・実験の指導 講師: 県内教員(予定)
	協議	予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価 講師: 総合教育センター指導主事
10 月 19 日 (木) 会場: 県内小学校		【午後からの研修】 小学校理科教育の実際 講師: 県内小学校教員
	授業参観	
	協議	「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価」実践上の成果と課題 講師: 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	特になし	

【PR・連絡等】

○1日目の研修会は小学校授業参観コース・中学校授業参観コース・高等学校授業参観コース合同で行います。
 ○2日目の研修会は、各コースにより実施日、実施会場が異なります。募集定員は各コース20名です。希望人数によって、コースの変更をお願いする場合があります。
 ○学習指導要領の完全実施に伴い、各校種それぞれの学校段階において育成を目指す資質・能力の全体像が明確化されるとともに、一貫性や系統性が重視されています。学習評価は3観点となり、評価場面の精選及び児童生徒の学習の見取りはこれまで以上に大切になっています。1日目は、学習指導要領の趣旨について学び、児童生徒が「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する」ことについて着目した授業づくりと学習評価について考えます。2日目は、県内小学校の理科授業を参観し、1日目から2日目の期間で実施した自己の授業を振り返り、授業改善の充実を図ります。
 ○小学校授業参観コースですが、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員も受講可能です。
 ・対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期		
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力

希望 研修

選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0402	理科研修会(中学校授業参観コース) ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	--	-------------------

目的・ねらい

学習指導要領の趣旨を理解し、小学校・中学校・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方について考え、理科指導力の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 2 日 (金) 会場: 総合教育センター	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮題) 講師: 国立教育政策研究所 学力調査官(予定)
	演習	小中高の接続を意識した観察・実験の指導 講師: 県内教員(予定)
	協議	予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価 講師: 総合教育センター指導主事
10 月 23 日 (月) 会場: 県内中学校		【午後からの研修】 中学校理科教育の実際 講師: 県内中学校教員
	授業参観	
	協議	「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価」実践上の成果と課題 講師: 総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	特になし	

【PR・連絡等】

- 1日目の研修会は小学校授業参観コース・中学校授業参観コース・高等学校授業参観コース合同で行います。
- 2日目の研修会は、各コースにより実施日、実施会場が異なります。募集定員は各コース20名です。希望人数によって、コースの変更をお願いする場合があります。
- 中学校種において免許外で理科を担当している主幹教諭・教諭で理科に関わる担任経験1年目は悉皆受講です。
- 学習指導要領の完全実施に伴い、各校種それぞれの学校段階において育成を目指す資質・能力の全体像が明確化されるとともに、一貫性や系統性が重視されています。学習評価は3観点となり、評価場面の精選及び児童生徒の学習の見取りはこれまで以上に大切になっています。1日目は、学習指導要領の趣旨について学び、児童生徒が「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する」ことについて着目した授業づくりと学習評価について考えます。2日目は、県内中学校の理科授業を参観し、1日目から2日目の期間で実施した自己の授業を振り返り、授業改善の充実を図ります。
- 中学校授業参観コースですが、小学校・高等学校・特別支援学校等の教員も受講可能です。
- ・対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>	自己研鑽力	

希望 研修

選択研修等 初任研 3 年目 中堅研 実助(5年・中堅) 中堅養教 免外

研修会 番号	C0403	理科研修会(高等学校授業参観コース) ～児童生徒の資質・能力を育む理科教育～	申込必要 [定員 20 名]
-----------	-------	---	-------------------

目的・ねらい

学習指導要領の趣旨を理解し、小学校・中学校・高等学校を通して育成を目指す資質・能力や指導内容の系統性を意識した学習指導の在り方について考え、理科指導力の向上を図る。

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

6 月 2 日 (金) 会場： 総合教育センター	講義・演習	学習指導要領の趣旨を踏まえた理科の授業づくり(仮題) 講師：国立教育政策研究所 学力調査官(予定)
	演習	小中高の接続を意識した観察・実験の指導 講師：県内教員(予定)
	協議	予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価 講師：総合教育センター指導主事
10 月 12 日 (木) 会場： 県内高等学校		
	授業参観	【午後からの研修】 高等学校理科教育の実際 講師：県内高等学校教員
	協議	「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する授業づくりと学習評価」実践上の成果と課題 講師：総合教育センター指導主事
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	特になし	

【PR・連絡等】

○1日目の研修会は小学校授業参観コース・中学校授業参観コース・高等学校授業参観コース合同で行います。
○2日目の研修会は、各コースにより実施日、実施会場が異なります。募集定員は各コース20名です。希望人数によって、コースの変更をお願いする場合があります。
○学習指導要領の完全実施に伴い、各校種それぞれの学校段階において育成を目指す資質・能力の全体像が明確化されるとともに、一貫性や系統性が重視されています。学習評価は3観点となり、評価場面の精選及び児童生徒の学習の見取りはこれまで以上に大切になっています。1日目は、学習指導要領の趣旨について学び、児童生徒が「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する」ことについて着目した授業づくりと学習評価について考えます。2日目は、県内高等学校の理科授業を参観し、1日目から2日目までの期間で実施した自己の授業を振り返り、授業改善の充実を図ります。
○高等学校授業参観コースですが、小学校・中学校・特別支援学校等の教員も受講可能です。
・対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 <small>学校経営能力</small>	子供理解 <small>組織管理運営能力</small>	学校を支える力 <small>外部連携能力</small>	教育への情熱 <small>たくましく 豊かな人間性</small>		自己研鑽力

希望 研修

選択研修等	初任研 3年目	中堅研	実助 (5年・中堅)	中堅養教	免外
-------	---------	-----	------------	------	----

研修会 番号	C0404	高等学校理科実験研修会 ～理科実験と自然観察～	申込必要 [定員 40名]
-----------	-------	----------------------------	------------------

目的・ねらい	理科教育についての理解を深め、あわせて教科・科目の内容・目的に即した観察・実験の技能を習得する。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

7月13日(木)	講義・実験	「化学分野の講義・実験」 講師：県内高等学校教員
	会場： 総合教育センター	講義・実験 「化学分野の講義・実験」 講師：総合教育センター指導主事
9月15日(金)	講義・見学	講義及び施設見学
	会場： 東北大学地震・噴火予知観測センター	講義・見学 講義及び施設見学
12月8日(金)	研究協議	施設見学のレポート発表
	会場： 総合教育センター	講義・実験 物理分野の講義・実験 講師：県内高等学校教員
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	2日目の事前	東北大学地震・噴火予知観測センター作成の研究成果の動画

【PR・連絡等】

○今年度の講義・実験は化学・物理分野を中心に行います。理科の実験・観察や探究活動におけるICT活用に関する実践的な研修として、1人1台端末を活用して2日目の施設見学のレポートを作成し、3日目の研究協議で発表します。発表用の端末は各自準備してください。
・対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期			
	指標資質能力	授業力 <small>リーダーとしての 基本的な素養</small>	生徒指導力 学校経営能力	子供理解 組織管理運営能力	学校を支える力 外部連携能力	教育への情熱 人材育成能力	たくましく 豊かな人間性	自己研鑽力

希望 研修

選択研修等	初任研 3年目	中堅研	実助(5年・中堅)	中堅養教	免外
-------	---------	-----	-----------	------	----

研修会 番号	C0405	小学校・中学校理科実験研修会 ～安全な観察・実験の実施と基本操作～	申込必要 [定員 40名]
-----------	-------	--------------------------------------	------------------

目的・ねらい	小学校、中学校理科で用いる基本的な実験器具の使い方や薬品の管理について、講義・実験を通して理解することにより、薬品等の安全な取扱いや観察・実験技能の向上を図る。
--------	--

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場： 総合教育センター	8月3日(木)	講義・実験	薬品の管理と使用(小学校・中学校合同) 講師：総合教育センター指導主事
		実習	小学校・中学校における観察・実験の課題(小学校・中学校合同) 講師：県内教員
		講義・実験	小学校：気体検知管を用いた実験 中学校：放射線の性質 講師：小学校：総合教育センター指導主事 中学校：東北放射線科学センター
		講義・実験	理科における観察・実験の実際(小学校・中学校別) 講師：総合教育センター指導主事
	事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)	特になし	

【PR・連絡等】

<p>○小学校・中学校における基本的な観察・実験技能、薬品の管理について実習を通して研修を行います。観察・実験の操作を中心に行う研修会です。</p> <p>○参加される先生方に事前アンケートをとり、共通している課題を中心に薬品の使い方や管理の仕方、観察・実験のポイントや具体的な方法について実験をしながら紹介します。</p> <p>○小学校の理科専科の教員、小学校・中学校の1年目から5年目(基礎形成期)の理科担当教員の皆様にお勧めの研修会です。</p> <p>・対象となる指標経験段階を示していますが、それ以外でも受講できます。</p>
